

**TOM'S SPiRiT**

スーパー耐久シリーズ 2019  
岡山国際サーキット  
2019年11月9日(土)

**予選**

天候: 晴れ 路面: ドライ



11月9日(土)、スーパー耐久シリーズ最終戦となる、第6戦が岡山国際サーキットにて開催された。第2戦SUGO大会以来となる、午前と午後で2グループに分かれての3時間レースとなる。TOM'S SPiRiT 86 は、ウエイトハンデ40Kgと厳しい予選が予想された。

- Aドライバー予選では、トップタイムに僅か100分の17秒足りず、クラス2番手となる。
- Bドライバー予選時は、アタックラップでの赤旗中断が響きクラス4番手。総合ではクラス2番手と、開幕戦から続いていた連続ポールポジションが途絶えてしまった。
- Cドライバー予選では、決勝を見据えての最終確認を行った。

ドライバー	車番	クラス順位	ベストタイム
坪井 翔	86	2位	1'43.429
中山雄一			1'44.119
松井孝允			1'45.247

気温	18.3°C
路面温度	30.8°C

※Aドライバー予選スタート時



**坪井 翔【Aドライバー】**

5戦連続ポールできていたので、全戦ポール目指して2人合わせてアタックしたのですが、Aドライバー予選では0.017秒足りずで2番手。Bドライバー予選ではグリップダウンと赤旗でピークを使えず結果総合で2番手となり全戦ポールとはならず、悔しい結果となってしまいました。

**中山雄一【Bドライバー】**

予選ではウエイトハンデがあるものの、坪井選手は良いアタックを決めました。私のアタックでは、この週末に感じた事がないようなステアバランスとなり、またタイヤの1番良いタイミングで赤旗となってしまい、タイムをまとめる事ができませんでした。

**松井孝允【Cドライバー】**

フリー走行からマシンのバランスは悪くなかったのですが、ハンディウエイト40Kgと重く、そこに苦しめられ坪井選手、中山選手の渾身のアタックでも予選2番手となり、僕の予選でもロングランのペースが厳しい事が予想されました。

**三塚 隆【チーム代表/監督】**

Aドライバー予選では、若干のタイムアップの要素はあったと思いますが、車を上手く合わせ込めていなかったのかと悔しさが残る予選でした。Bドライバー予選は、タイムアタックに入った周に赤旗が出てしまい、こちらも残念な結果となってしまいました。全戦ポール獲得とならず残念ですが、明日は気持ちを切り替えてトップでゴールしたいと思います。

**TOM'S SPIRIT**

スーパー耐久シリーズ 2019  
岡山国際サーキット  
2019年11月10日(日)

**決勝**

天候: 晴れ 路面: ドライ



スーパー耐久シリーズ第6戦の決勝レースが、岡山国際サーキットにて行われた。TOM'S SPIRIT 86 は2番手スタートからチェッカー30分前まで順調にトップを走行していたが、FCY・SCのタイミングとタイヤトラブルにより3位チェッカーと悔しい結果となった。

- 今大会3時間レースのピットストップ義務回数は2回。
- 坪井選手はスタートの1コーナーで884号車をパスし、トップにでるとファステストラップを記録しながら後続車を引き離して行く。
- 35周目に最初のピットイン。タイヤ交換はせず、給油のみで中山選手へとドライバー交代。前の車両がピット作業を終えるとクラストップとなり、2番手には約30秒の-marginができる。
- 70周目に最後のドライバー交代で松井選手へ。今回も給油のみでコースへと送り出す。
- 順調に周回を重ねていた79周目にクラッシュによる車両回収の為、FCYからSC導入となり、FCYのタイミングが13号車のピットタイミングと重なった為、大量の-marginを築かれてしまう。
- 松井選手が懸命に追いつけていた87周目にタイヤトラブルによる緊急ピットイン。4輪交換しコースへと復帰したが、クラス3番手でのチェッカーと悔しい結果となってしまった。

ドライバー	車番	クラス順位	ベストタイム
坪井 翔	86	3位	1'44.259
中山雄一			1'45.560
松井孝允			1'45.310

気温	12.4℃	※決勝グリッド
路面温度	12.8℃	



**坪井 翔【ADライバー】**

2番手からスタートし、勝つしかない状況だったのでスタートから狙っていき1コーナーでトップに立ち、レースをコントロールする立場になれるよう、後続を引き離していきました。残り30分まではリードを築いて勝ちパターンに持ち込んでいましたが、FCY、SCが入り2番手に落ち、タイヤバーストで最終的には3位。勝って締めくりたかったのですが、上手いかず、今年は厳しいシーズンとなりました。この悔しさは来年リベンジしたいです！1年間ありがとうございました。

**中山雄一【CDライバー】**

決勝ではタイヤ無交換作戦でも良いペースを維持し続け、タイヤの摩耗具合は問題なかったのですが、構造が壊れた事によりバーストしてしまいました。ST-4クラスはレベルが上がり、より高度なパフォーマンスが求められるようになりました。1年を通じて色々な課題に向き合い成長させて頂いた事に感謝します。

**松井孝允【CDライバー】**

最終戦は勝って終わりたいという気持ちから、坪井選手がスタートを決めて、後続とのギャップを開いて、中山選手もどんどん離してくれていた為、最後はその-marginをチェッカーまでと計算していたのですが、FCYがライバルに有利に働き、それに加えタイヤバーストという不運も重なり3位チェッカーとなりました。シーズンを通して速さはあったのですが、中々噛み合わないレースもあり悔しいシリーズ2位となりましたが、チーム全員が一つになりレースに取り組んだという部分では確実に成長できたシーズンだったと思います。今年もたくさんの応援ありがとうございました！

**三塚 隆【チーム代表/監督】**

レース中のラップタイム自体は悪くなく、序盤から中盤まで上手く進める事ができたと思います。しかし79Lap目にFCY、SCが導入されてしまい、大量のリードが無くなってしまいました。更にタイヤがパンクしてしまい順位を落としてしまいました。今年は初戦から色々な事が起きてしまいポイントを取れずチャンピオンを逃してしまいました。またチャレンジしていきます。応援ありがとうございました。